

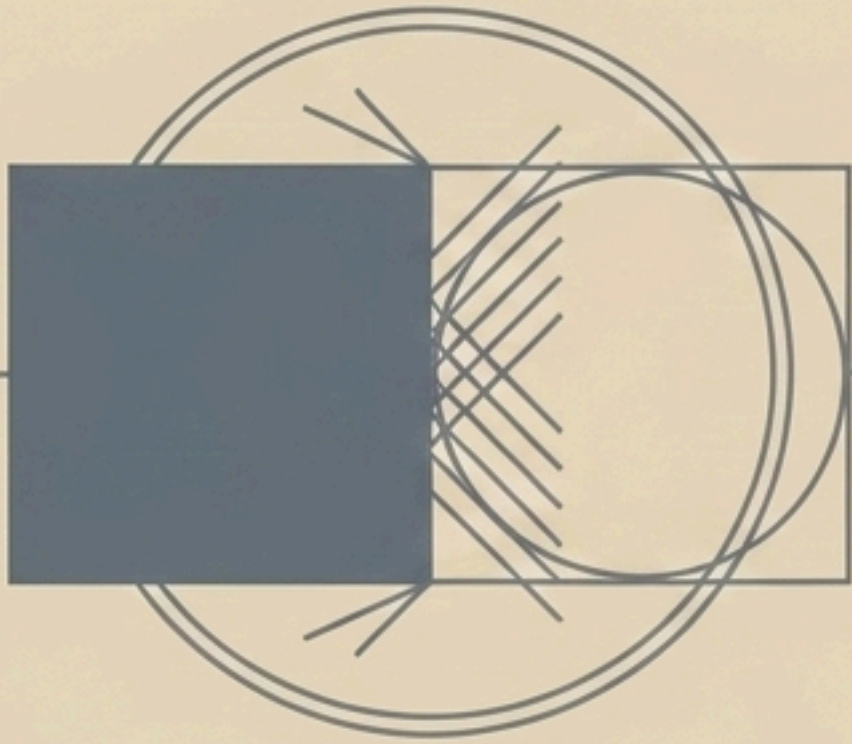
# ヨガトレ<sup>®</sup>教育 導入までの流れ

現場に寄り添い、価値を構造化する「設計型」教育サービスの実装プロセス

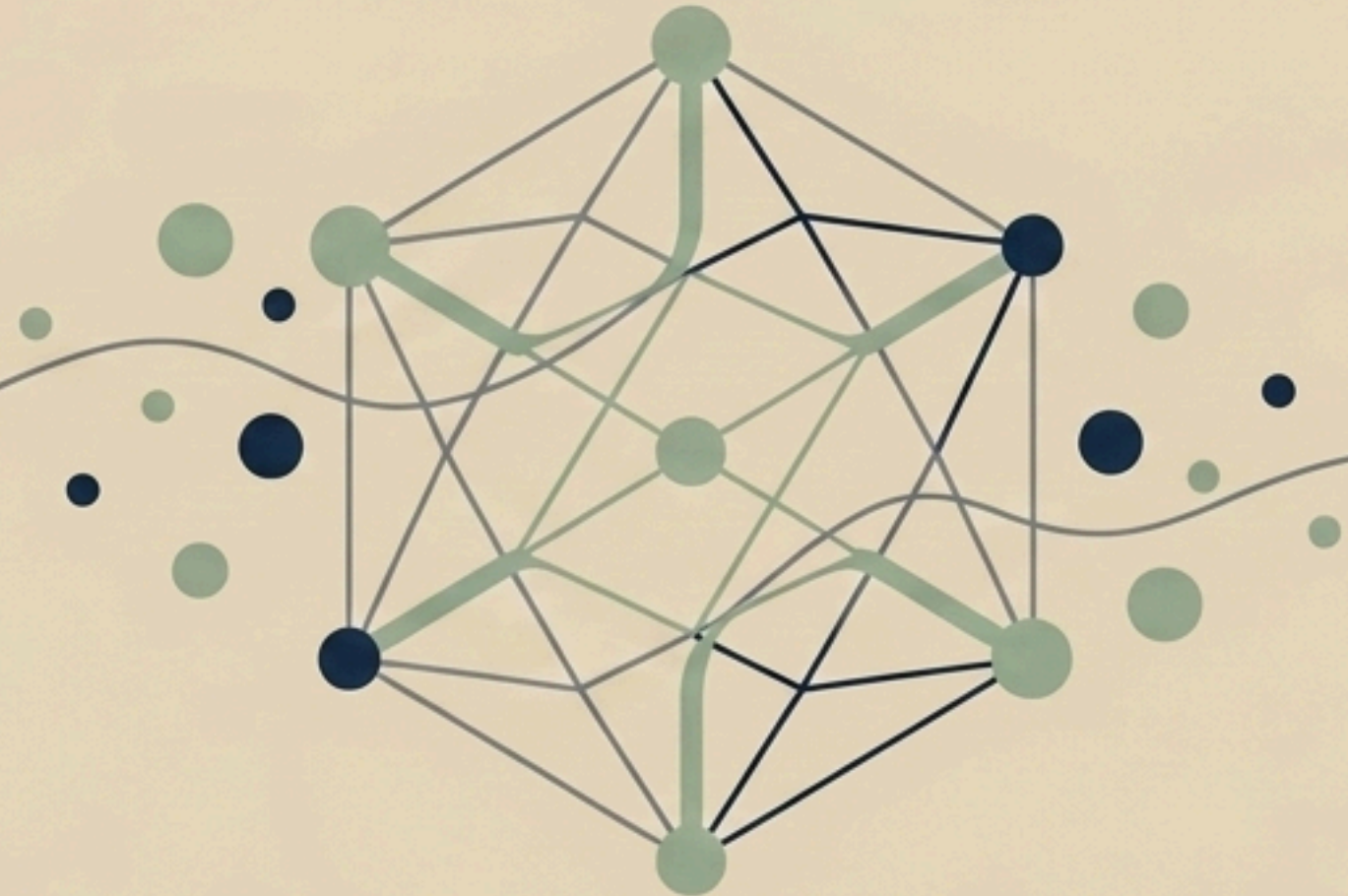
# 最適な教育モデルの「設計」

私たちが提供するものは、既存の取り組みを置き換えるパッケージではありません。  
現場の環境や課題に合わせ、最適な教育モデルを共に創り上げる「伴走型の実装サービス」です。

## 従来のパッケージ導入



## ヨガトレ®の設計型導入



# 共創のアーキテクチャ：5つの実装プロセス

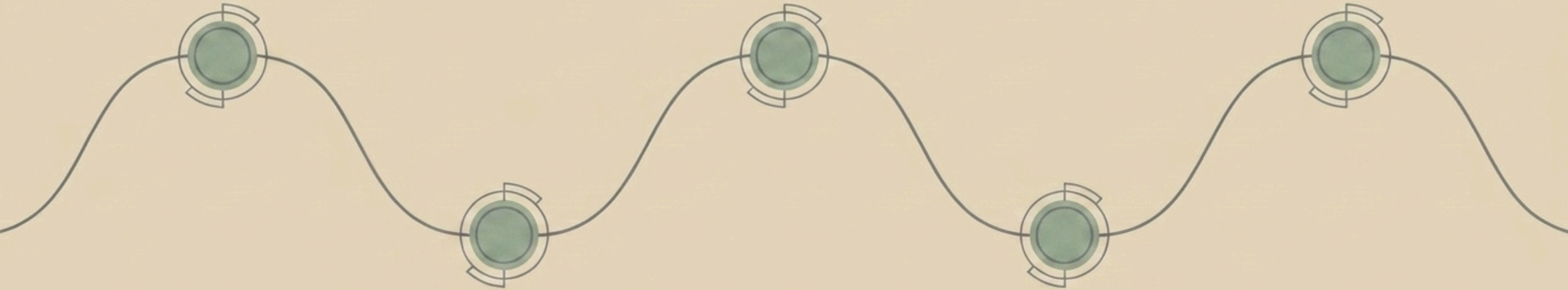
**[1] ヒアリング**  
(現状理解)

**[3] モデル提示**  
(可視化)

**[5] 実装・運用**  
(伴走支援開始)

**[2] 設計**  
(オーダーメイドモデル構築)

**[4] 方向性の決定**  
(共創の可否判断)

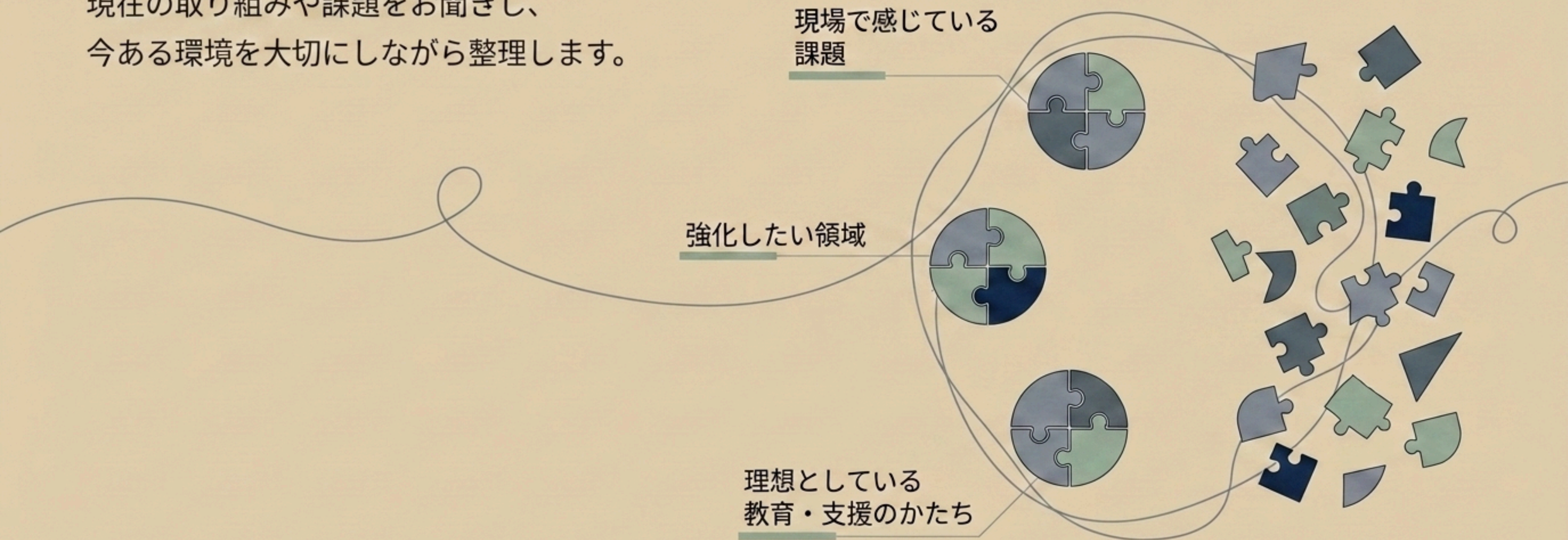


# Step 1. 今ある環境や取り組みを、大切に整理する

まずは、貴社の現在地を深く理解することから始めます。

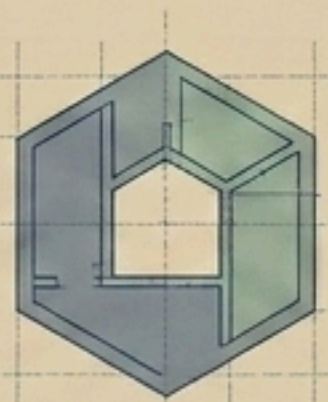
現在の取り組みや課題をお聞きし、

今ある環境を大切にしながら整理します。



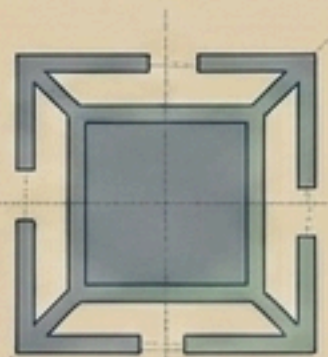
## Step 2. 目的と対象に応じ、最適な形へ

ヒアリング内容をもとに、貴社に最適な実装モデルを設計します。  
目的や対象に応じて設計は大きく変わります。



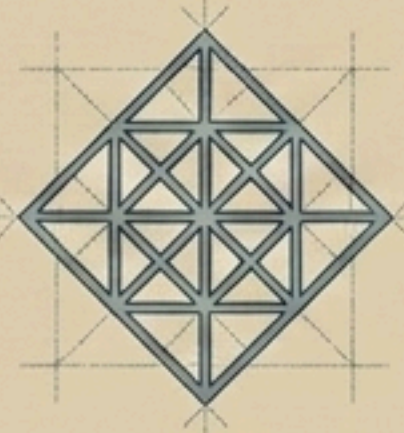
### 保育園としての実装

日常の保育への自然な組み込み



### スポーツクラブでの応用

プログラムとしての応用と付加価値

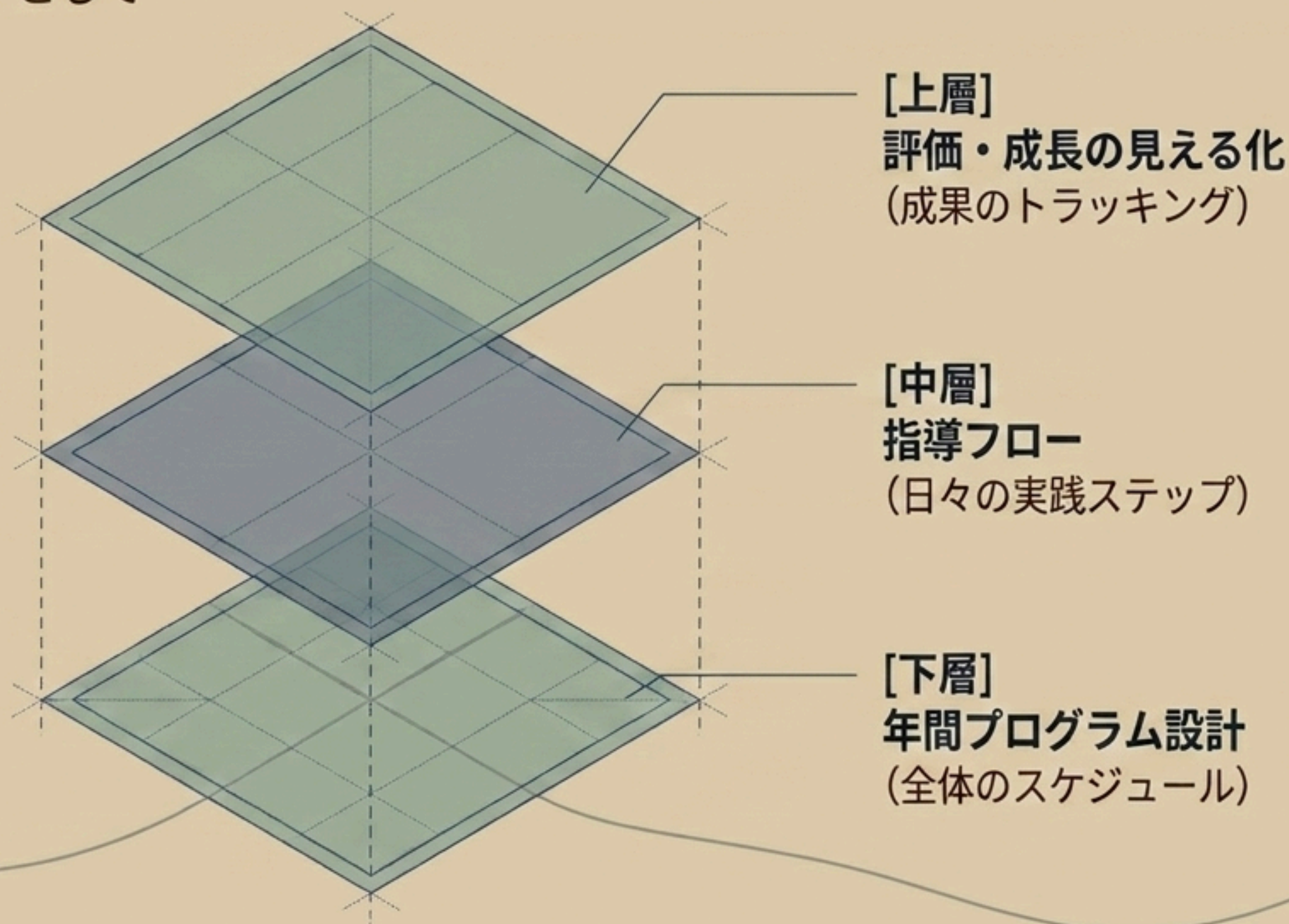


### 発達支援・療育としての展開

専門的アプローチとしての展開

## Step 3. 貴社専用の「実装モデル」を可視化

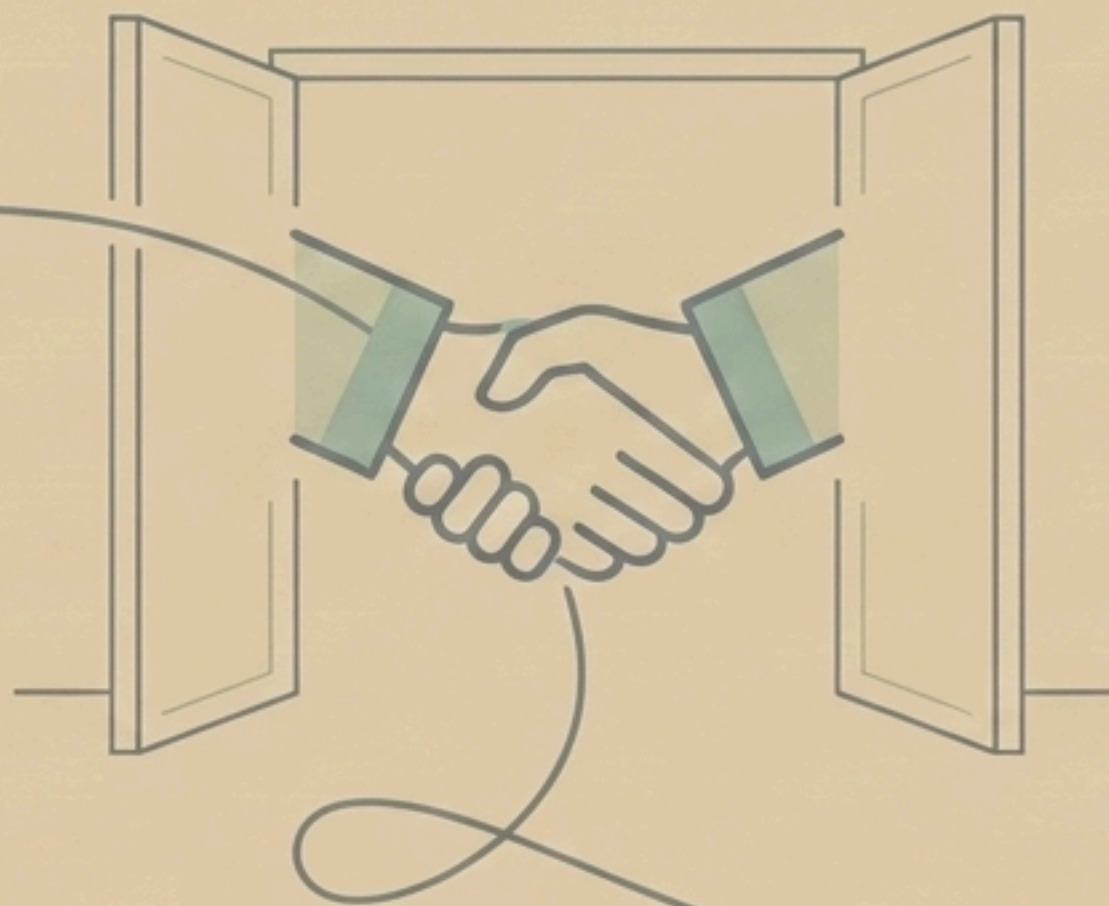
設計した内容を、具体的な「実装モデル」として  
ご提案します。



## Step 4. 納得した形でのスタートを大切に

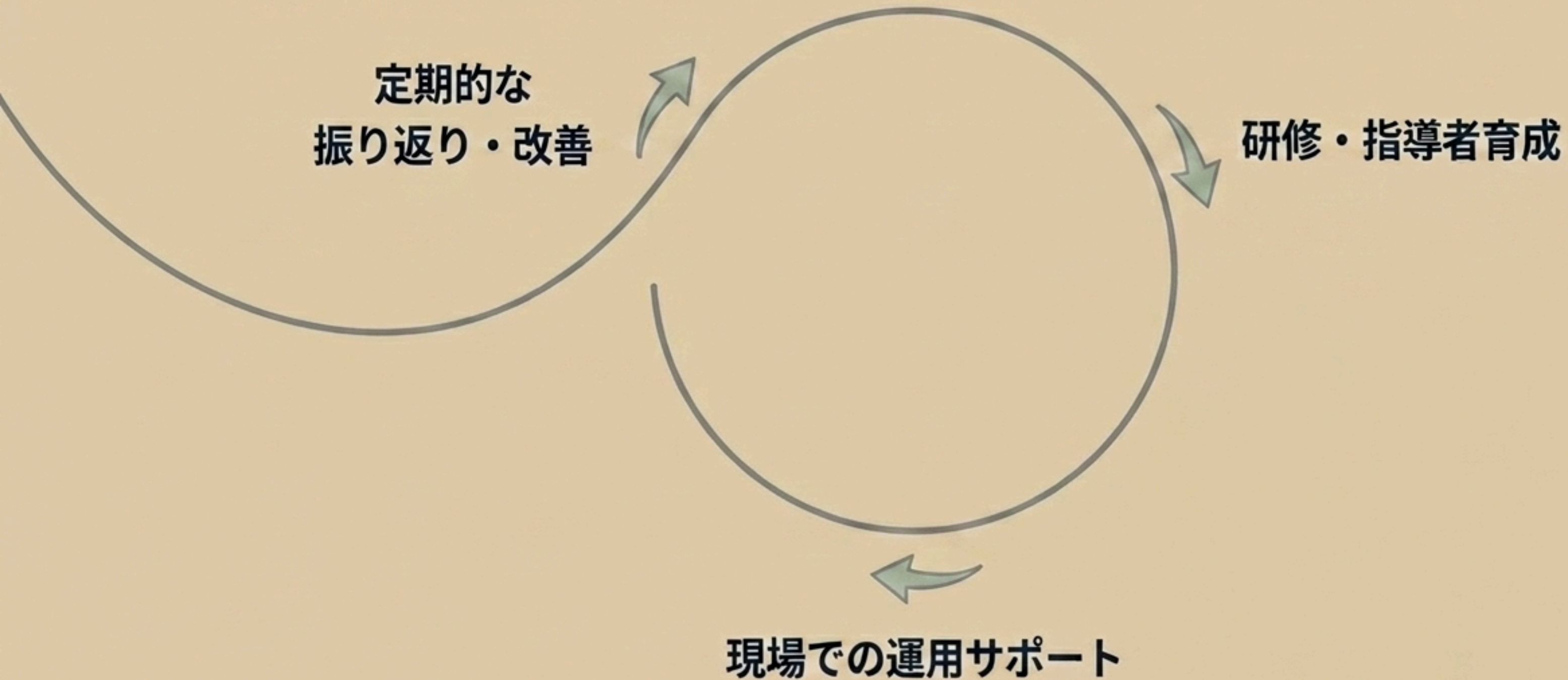
モデルをご確認いただいた上で、実施の有無や進め方を一緒に決定します。  
共創の可否を判断する重要なプロセスです。

無理な導入は  
行えません



納得した形での  
スタートを  
大切にしています

## Step 5. 決定したモデルを現場へ。持続可能な運用をサポート



# 置き換えるのではなく、「構造化」する

ヨガトレ<sup>®</sup>教育は、「既存の取り組みを置き換えるもの」ではありません。

今ある環境を活かしながら、その価値を構造化し、  
誰もが実践できる「再現性のある形」へと整える共育です。

